平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年1月31日

上場会社名　株式会社中央製作所　　上場取引所　名
コード番号　6846　URL　http://www.chuo-seisakusho.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 後藤　邦之
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長　(氏名) 篠田　政明　TEL 052-821-6155

四半期報告書提出予定日　平成25年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	2,828	△2.6	△109	―	△108	―	△113	―
24年3月期第3四半期	2,904	28.5	△51	―	△75	―	△84	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△14.61	―
24年3月期第3四半期	△10.86	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	4,237	1,414	33.4
24年3月期	4,654	1,560	33.5

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　1,414百万円　24年3月期　1,560百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	2.50	2.50
25年3月期	―	0.00	―		
25年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有

3. 平成25年 3月期の業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,200	△17.1	15	△94.0	12	△94.8	7	△96.8	0.90

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 有
④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	7,843,000 株	24年3月期	7,843,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	76,261 株	24年3月期	75,030 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	7,767,679 株	24年3月期3Q	7,769,113 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……3
３．四半期財務諸表 ……4
（１）四半期貸借対照表 ……4
（２）四半期損益計算書 ……5
（３）継続企業の前提に関する注記 ……6
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……6
４．補足情報 ……7
（１）生産実績 ……7
（２）受注実績 ……7
（３）販売実績 ……7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第３四半期累計期間におけるわが国経済は、復興関連事業等により緩やかな回復が期待されたものの、停滞したまま推移いたしました。長引く超円高、中国の経済成長の鈍化及び今夏以降の二国間関係の悪化により、輸出関連産業につきましても減産を強いられ、設備投資は低調のまま推移いたしました。

このような状況下で、当社の受注高は3,275百万円（前年同期比5.8％減）、売上高につきましては2,828百万円（前年同期比2.6％減）となりました。その結果、営業損失が109百万円、経常損失108百万円、四半期純損失113百万円の計上となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（電源機器）

当第３四半期累計期間の電源機器におきましては、製品に対するコスト低減と短納期対応に重点を置き、生産・販売活動を行ってまいりました。しかし、主な需要先の一つである半導体・電子・電機業界を取り巻く環境は依然として厳しく、設備投資に対する意欲は極めて弱いまま推移いたしました。その結果、受注高は1,016百万円（前年同期比23.2％減）、売上高は779百万円（前年同期比37.0％減）となりました。当該四半期におきましては、操作性の向上と省電力化を実現した小型直流電源機器の新モデルを市場へ投入し、既存市場での競争力の強化を図りました。また、新市場の開拓のため、用途の拡大が期待できる分野に適した電源機器の開発に一層注力してまいります。

（表面処理装置）

当第３四半期累計期間の表面処理装置におきましては、受注・売上の確保のため国内の既存設備の更新需要の掘り起こしを行ってまいりました。また、超円高基調の中、日本国内からの生産シフトに対応するため、海外における新たな生産拠点の情報収集を、中国における営業拠点として新設いたしました子会社を含め積極的に行ってまいりました。その結果、受注高は1,229百万円（前年同期比7.7％増）、売上高は1,053百万円（前年同期比37.9％増）となりました。

（電気溶接機）

当第３四半期累計期間の電気溶接機におきましては、国内市場における輸送機業界を中心に新規需要及び海外進出に伴う需要の情報収集に力を入れてまいりました。主に自動車業界における受注が緩やかに回復し、また、海外においては、汎用溶接機用制御装置が引続き堅調に推移いたしました。その結果、受注高は544百万円（前年同期比20.7％増）、売上高は576百万円（前年同期比37.3％増）となりました。

（環境機器）

当第３四半期累計期間の環境機器におきましては、地球環境保全について国際的な取り組みが進展する中、リサイクル関連機器、各種液管理装置の機能改善・モデルチェンジに取り組んでまいりました。当該製品群は、表面処理装置に付帯する割合が大きく、受注高は240百万円（前年同期比2.9％増）、売上高は222百万円（前年同期比3.5％増）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

（資産）

流動資産は、前事業年度末に比べ10.8％減少し3,483百万円となりました。これは、現金及び預金が308百万円、仕掛品が164百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が912百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べ0.6％増加し754百万円となりました。これは、有形固定資産が１百万円減少したものの、投資その他の資産が８百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ9.0％減少し4,237百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前事業年度末に比べ11.7％減少し2,014百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が71百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べ0.4％減少し808百万円となりました。これは、役員退職慰労引当金が10百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ8.8％減少し2,823百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前事業年度末に比べ9.3％減少し1,414百万円となりました。これは、利益剰余金が132百万円、その他有価証券評価差額金が12百万円減少したことなどによります。

（３）業績予想に関する定性的情報

平成24年11月14日に公表いたしました通期業績予想に変更はございません。

なお、当期の期末配当につきましては、経営環境の先行きが不透明であり、業績の不確定要素も多く、未定としておりましたが、現下の損益状況や、今後の業績の推移、事業環境等を総合的に勘案して、遺憾ながら見送ることといたしました。

詳細につきましては、本日公表の「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

なお、記載の業績予想数値につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後様々な要因により業績予想とは異なる可能性があります。実際の業績に与え得る重要な要因には、当社の事業を取り巻く経済環境、市場動向等が考えられます。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,060,379	1,368,581
受取手形及び売掛金	2,084,931	1,172,871
商品及び製品	70,959	65,778
仕掛品	541,587	705,807
原材料及び貯蔵品	97,990	126,705
その他	50,003	44,604
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	3,904,852	3,483,348
固定資産		
有形固定資産	305,272	303,278
無形固定資産	15,825	14,449
投資その他の資産	430,315	438,465
貸倒引当金	△1,768	△1,768
固定資産合計	749,645	754,425
資産合計	4,654,498	4,237,773
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,078,893	1,007,636
短期借入金	840,000	840,000
未払法人税等	6,775	1,738
その他	356,945	165,276
流動負債合計	2,282,614	2,014,651
固定負債		
退職給付引当金	554,459	566,848
役員退職慰労引当金	229,400	218,500
その他	28,013	23,391
固定負債合計	811,873	808,740
負債合計	3,094,488	2,823,391
純資産の部		
株主資本		
資本金	503,000	503,000
資本剰余金	225,585	225,585
利益剰余金	732,206	599,263
自己株式	△11,420	△11,532
株主資本合計	1,449,371	1,316,316
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	110,638	98,065
評価・換算差額等合計	110,638	98,065
純資産合計	1,560,010	1,414,382
負債純資産合計	4,654,498	4,237,773

（２）四半期損益計算書
第３四半期累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	2,904,556	2,828,334
売上原価	2,286,251	2,285,450
売上総利益	618,305	542,884
販売費及び一般管理費	670,135	652,254
営業損失（△）	△51,829	△109,369
営業外収益		
受取利息	80	55
受取配当金	5,294	5,103
雑収入	2,572	4,927
営業外収益合計	7,947	10,086
営業外費用		
支払利息	8,202	8,211
為替差損	22,465	－
雑損失	474	587
営業外費用合計	31,142	8,798
経常損失（△）	△75,024	△108,081
特別損失		
固定資産除却損	598	710
投資有価証券評価損	7,141	3,115
特別損失合計	7,739	3,825
税引前四半期純損失（△）	△82,764	△111,907
法人税、住民税及び事業税	1,630	1,615
法人税等合計	1,630	1,615
四半期純損失（△）	△84,395	△113,523

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

４．補足情報

生産、受注及び販売の状況（自 平成24年４月１日　至 平成24年12月31日）

(1) 生産実績

当第３四半期累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
電源機器	881,290	△39.8
表面処理装置	1,111,926	△8.6
電気溶接機	566,216	24.3
環境機器	248,827	8.1
その他	183,093	△44.2
合計	2,991,354	△19.0

（注）１　金額は、販売価格によっております。
　　２　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第３四半期累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
電源機器	1,016,058	△23.2	414,503	△39.6
表面処理装置	1,229,465	7.7	769,860	△39.5
電気溶接機	544,890	20.7	96,646	△16.2
環境機器	240,651	2.9	74,125	53.8
その他	244,580	△25.5	76,026	△33.0
合計	3,275,647	△5.8	1,431,160	△36.0

（注）　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第３四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
電源機器	779,319	△37.0
表面処理装置	1,053,526	37.9
電気溶接機	576,747	37.3
環境機器	222,071	3.5
その他	196,668	△27.1
合計	2,828,334	△2.6

（注）　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。